

第4章 福祉・健康に関連することについて

【子育て・子育て支援について】

(1) 現在・予定・理想のお子さんの人数

問 16 20歳から39歳までの方にお聞きします。お子さんの人数について、現在の状況やあなたのお考えを教えてください。

- ◆ 現在のお子さんの人数は、「0人」と回答した人が33.6%と最も高く、次いで「1人」が26.5%、「2人」が22.2%となっています。
- ◆ 今後予定しているお子さんの人数が、理想とするお子さんの人数よりも少ないと回答した人は、50.6%となっています。

【「現在・予定・理想のお子さんの人数」の傾向】

- 「今度予定するお子さんの人数（現在のお子さんを含む）」は、「2人」と回答した人が37.7%と最も高く、次いで「0人」が23.8%、「1人」が14.2%となっています。
- 「理想とするお子さんの人数」は、「2人」と回答した人が49.4%と最も高く、次いで「3人」が28.1%、「1人」が4.6%となっています。現在のお子さんの人数と比べて、理想のお子さんの人数とがかい離していることがわかります。

図 4-1-1 現在・予定・理想のお子さんの人数

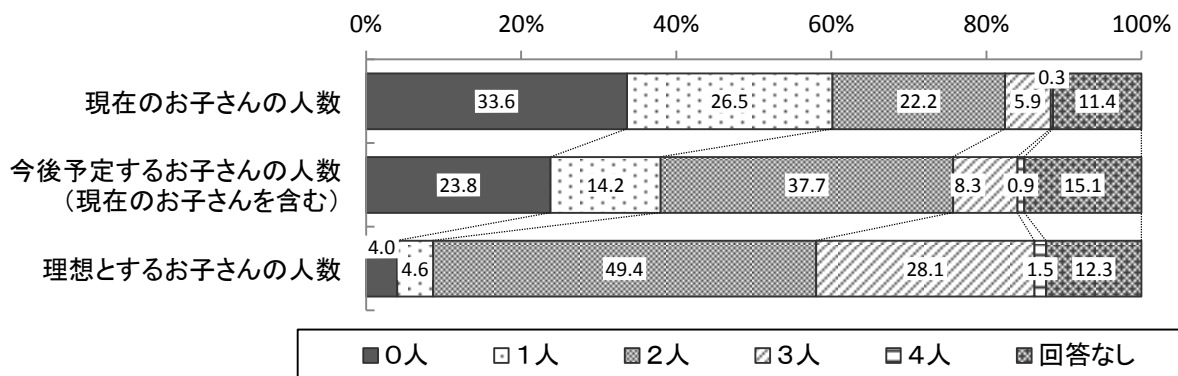
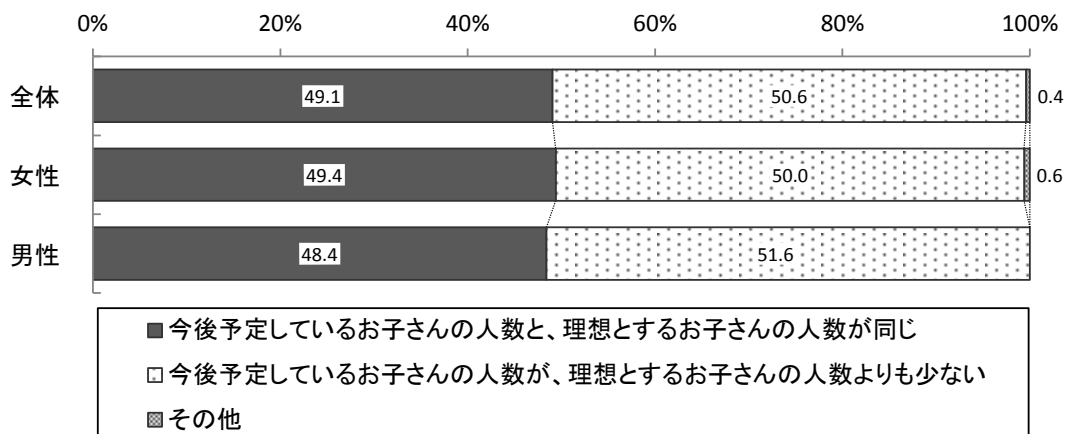


図 4-1-2 性別「予定・理想のお子さんの人数」



(2) 子育て環境についての評価

問 17 あなたにとって、日進市は安心して子育てができる環境であると思いますか。

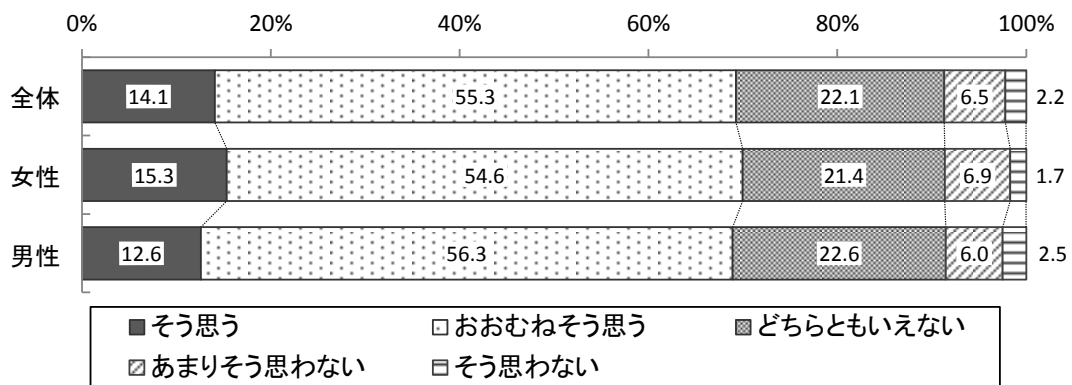
※前問の問 16 において、回答者を 20 歳から 39 歳までの方に限定した結果、問 17・18 においても、回答をされなかった方が非常に多くなっています。そのため、「無回答者を含めない場合」と「無回答者を含める場合」を記載します。

- ◆ 安心して子育てができる環境であると回答した人（「そう思う」、「おおむねそう思う」の合計）は、69.4%となっています。（無回答者を含めない場合）

【性別にみた「子育て環境についての評価」の傾向】（無回答者を含めない場合）

○安心して子育てができる環境であると回答した人に、大きな差はみられません。

図 4-2-1 性別「子育て環境についての評価」（無回答者を含めない場合）

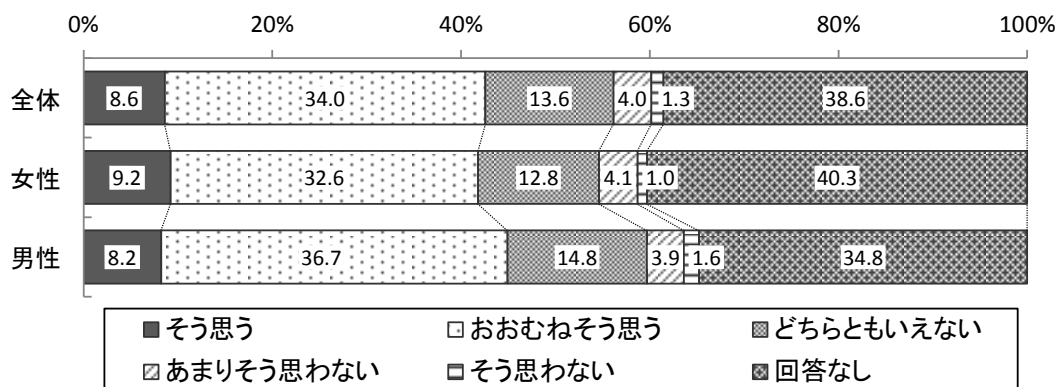


- ◆ 安心して子育てができる環境であると回答した人は、42.6%となっています。（無回答者を含める場合）

【性別にみた「子育て環境についての評価」の傾向】（無回答者を含める場合）

○安心して子育てができる環境であると回答した人に、大きな差はみられません。

図 4-2-2 性別「子育て環境についての評価」（無回答者を含める場合）



(3) 子育て支援施設の利用

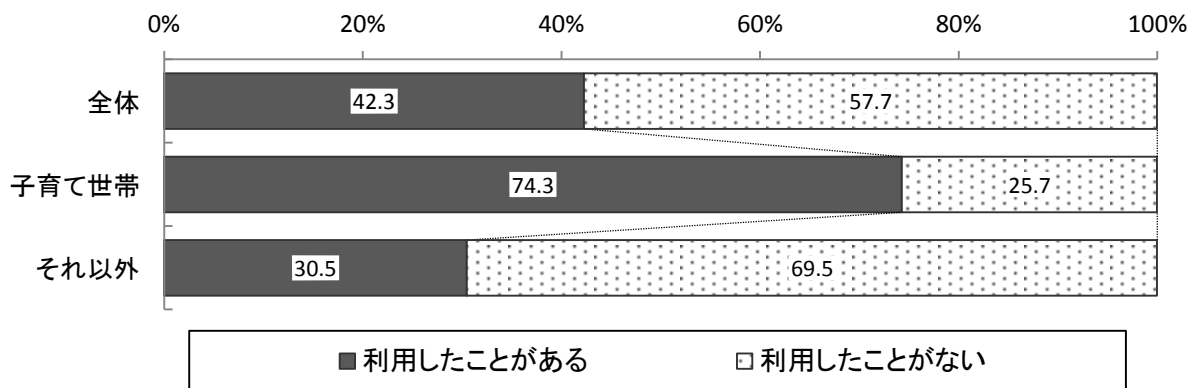
問 18 あなたは、子育て支援センターや児童館を利用したことがありますか。

- ◆ 「利用したことがある」と回答した人は、42.3%となっています。(無回答者を含めない場合)

【世帯構成別にみた「子育て支援施設の利用」の傾向】(無回答者を含めない場合)

○ 「利用したことがある」と回答した人は、子育て世帯(小学生未満の乳幼児が世帯にいると回答した人)で74.3%となっています。

図 4-3-1 世帯構成別「子育て支援施設の利用」(無回答者を含めない場合)

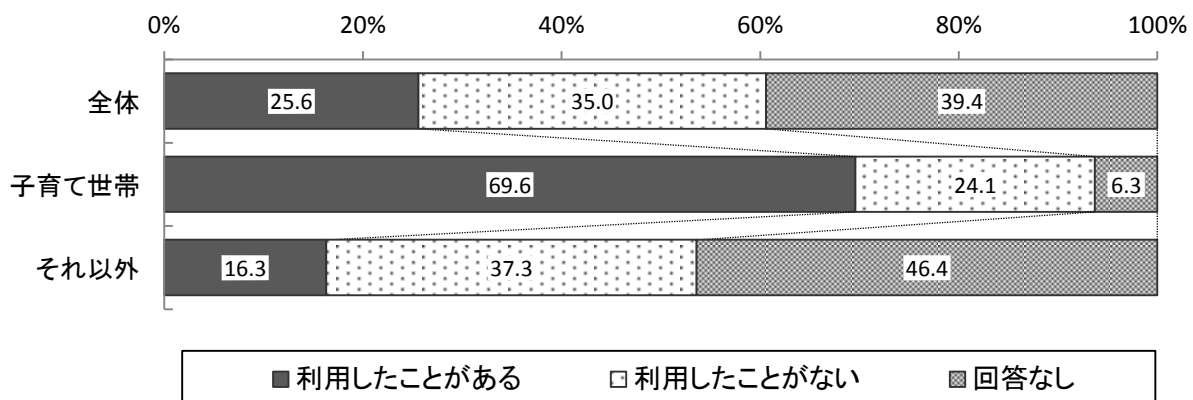


- ◆ 「利用したことがある」と回答した人は、25.6%となっています。(無回答者を含める場合)

【世帯構成別にみた「子育て支援施設の利用」の傾向】(無回答者を含める場合)

○ 「利用したことがある」と回答した人は、子育て世帯で69.6%となっています。

図 4-3-2 世帯構成別「子育て支援施設の利用」(無回答者を含める場合)



【高齢者福祉・介護保険について】

(4) 暮らしにおける生きがいの意識

問 19 あなたは今、生きがい（運動、趣味、社会参加など）を持って暮らしていると感じていますか。

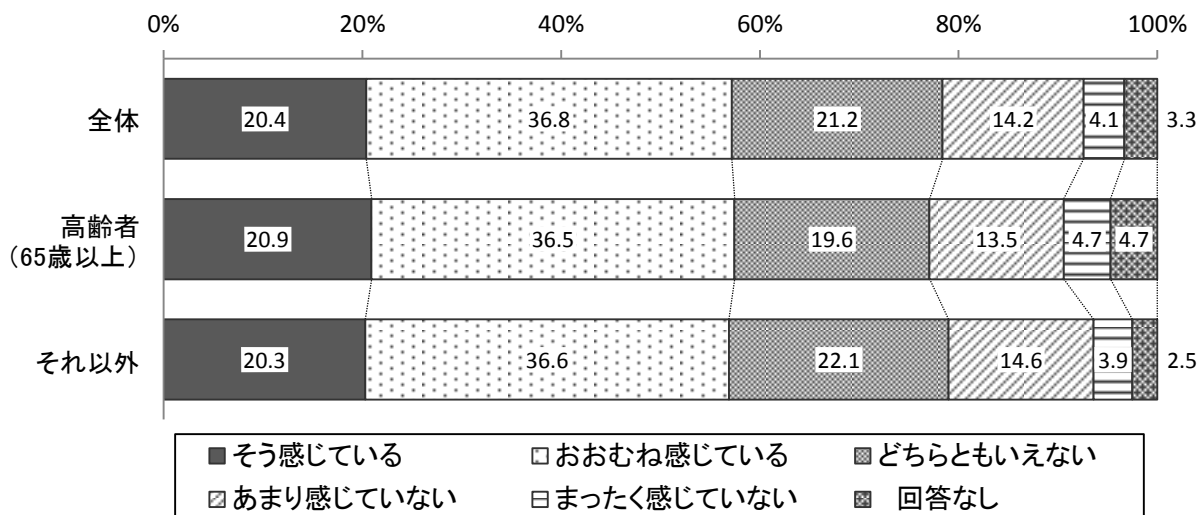
- ◆ 生きがいを感じていると回答した人（「そう感じている」、「おおむね感じている」の合計）は、57.2%となっています。

【年齢別にみた「暮らしにおける生きがいの意識」の傾向】

○ 生きがいを感じていないと回答した人（「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計）は18.3%となっています。

○ 高齢者（65歳以上）のうち、生きがいを感じていると回答した人は、57.4%となっています。

図 4-4 年齢別「暮らしにおける生きがいの意識」



【地域での助け合いについて】

(5) 地域福祉活動への参加

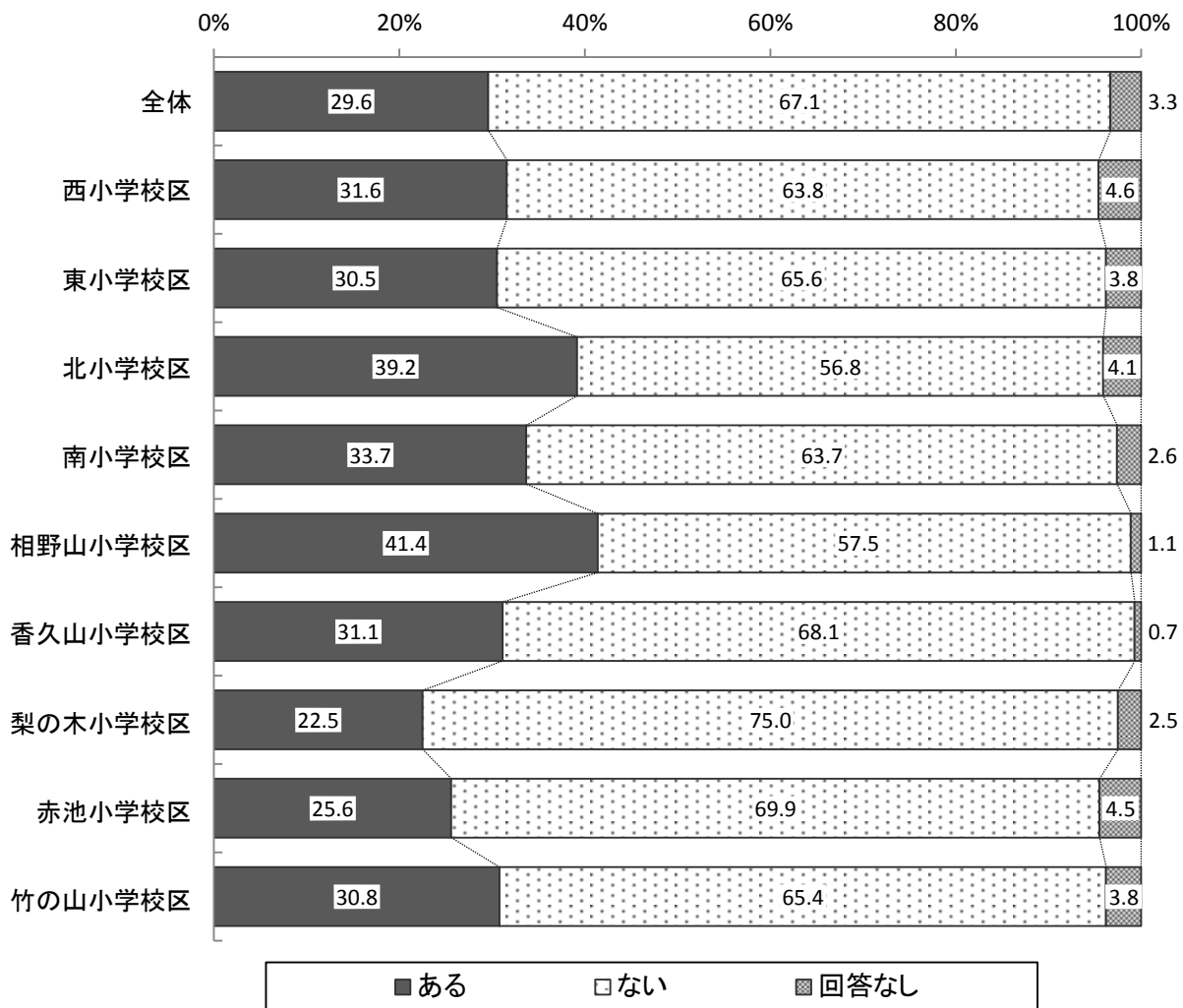
問 20 あなたは、とより近所の人困りごと（買い物やごみ出し、子どもの預かりなど）をお手伝いした経験がありますか。

◆ 「ある」と回答した人は、29.6%となっています。

【居住小学校区別にみた「地域福祉活動への参加」の傾向】

○「ある」と回答した人は、相野山小学校区で41.4%と最も高く、次いで北小学校区で39.2%、南小学校区で33.7%となっています。

図 4-5 居住小学校区別「地域福祉活動への参加」



(6) 地域における助け合い

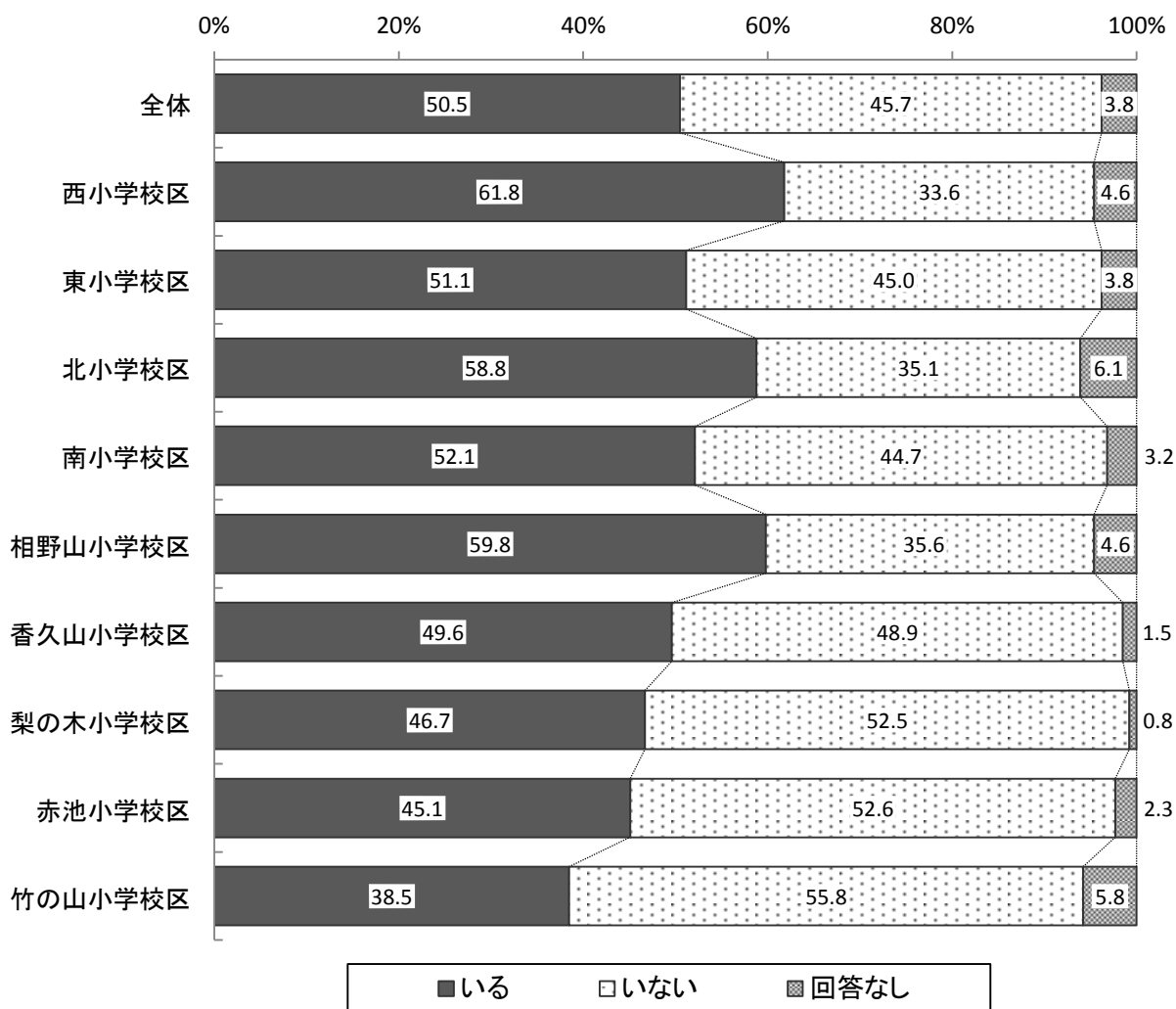
問 21 あなたは、ひとり暮らしや心身に障害がある状態になった時、地域に相談したり、助け合ったりする人がいますか。

◆ 「いる」と回答した人は、50.5%となっています。

【居住小学校区別にみた「地域における助け合い」の傾向】

- 「いる」と回答した人は、西小学校区で61.8%と最も高く、次いで相野山小学校区で59.8%、北小学校区で58.8%となっています。
- 「いない」と回答した人は、全体と比べて、竹の山小学校区、赤池小学校区、梨の木小学校区で特に高く、5割を超えています。

図 4-6 居住小学校区別「地域における助け合い」



【健康について】

(7) 健康に対する実感

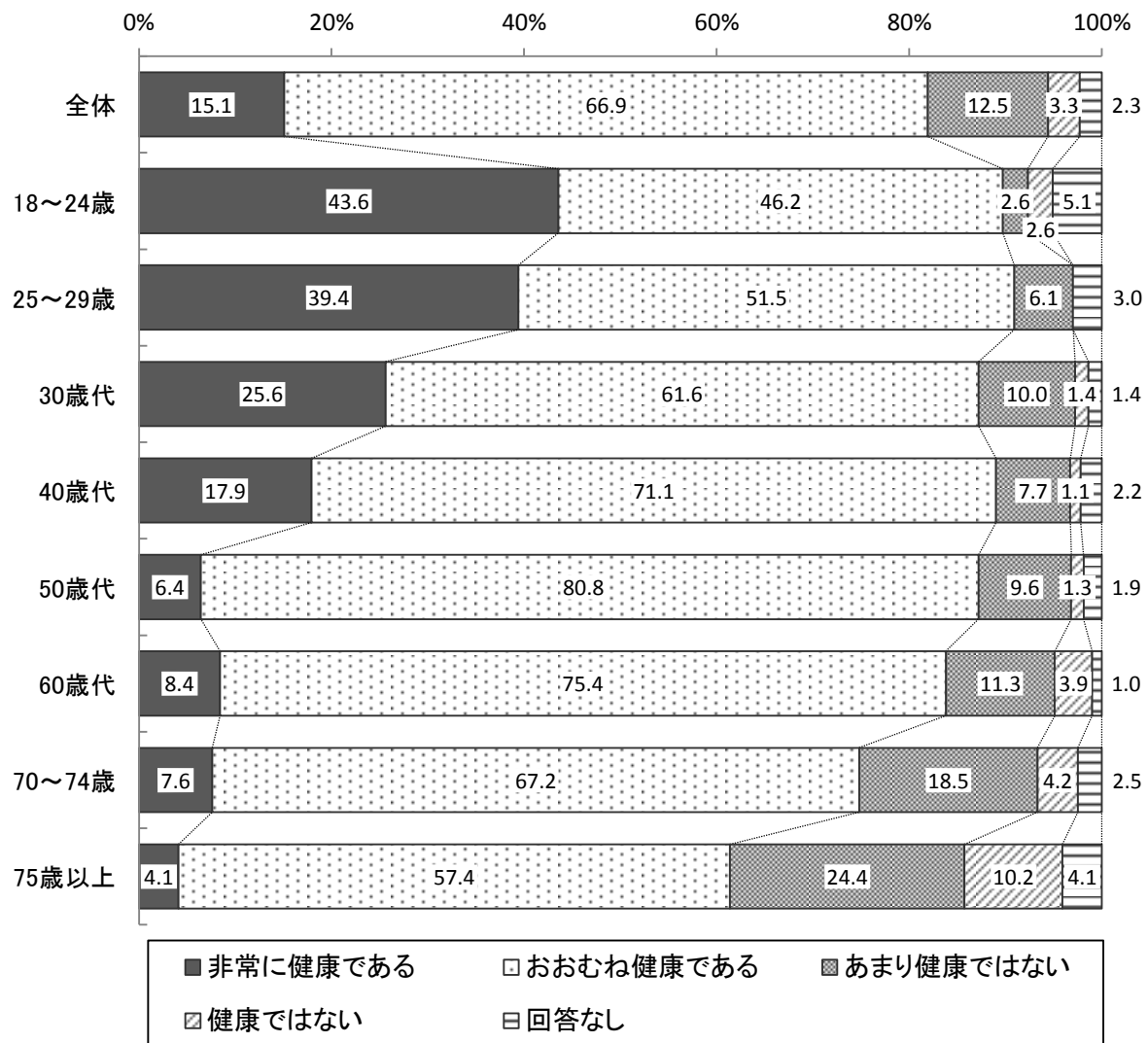
問 22 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように思われますか。

- ◆ 健康であると回答した人（「非常に健康である」、「おおむね健康である」の合計）は、82.0%となっています。

【年齢別にみた「健康に対する実感」の傾向】

- 健康であると回答した人は、25～29歳で90.9%と最も高く、次いで18～24歳で89.8%、40歳代で89.0%となっています。また、年代が上がるにつれて概ね減少傾向にあります。
- 健康でないと回答した人（「あまり健康ではない」、「健康ではない」の合計）は、75歳以上で34.6%と最も高く、次いで70～74歳で22.7%、60歳代で15.2%となっています。

図 4-7 年齢別「健康に対する実感」



(8) 健康を意識した行動

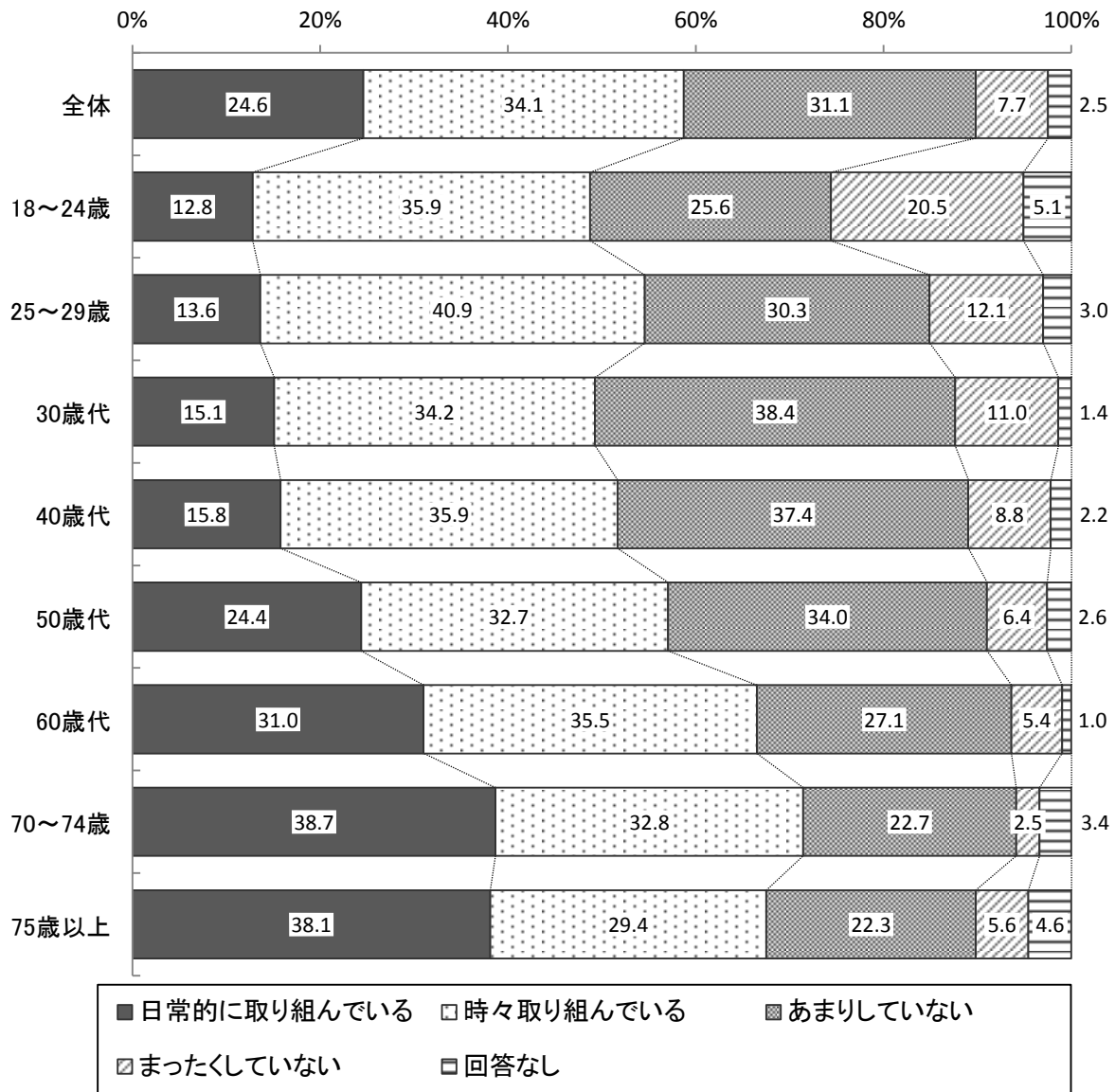
問 23 あなたは、健康のために何か取り組んでいますか。

- ◆ 取り組んでいると回答した人（「日常的に取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」の合計）は、58.7%となっています。

【年齢別にみた「健康を意識した行動」の傾向】

- 取り組んでいると回答した人は、70～74歳で71.5%と最も高く、次いで75歳以上で67.5%、60歳代で66.5%となっています。また、年代が上がるにつれて概ね増加傾向にあります。
- 取り組んでいないと回答した人（「あまりしていない」、「まったくしていない」の合計）は、30歳代で49.4%と最も高く、次いで40歳代で46.2%、18～24歳で46.1%となっています。

図 4-8 年齢別「健康を意識した行動」



(9) ウォーキングの実施状況

問 24 あなたは、日常的にウォーキング（散歩やジョギングを含む）をしていますか。

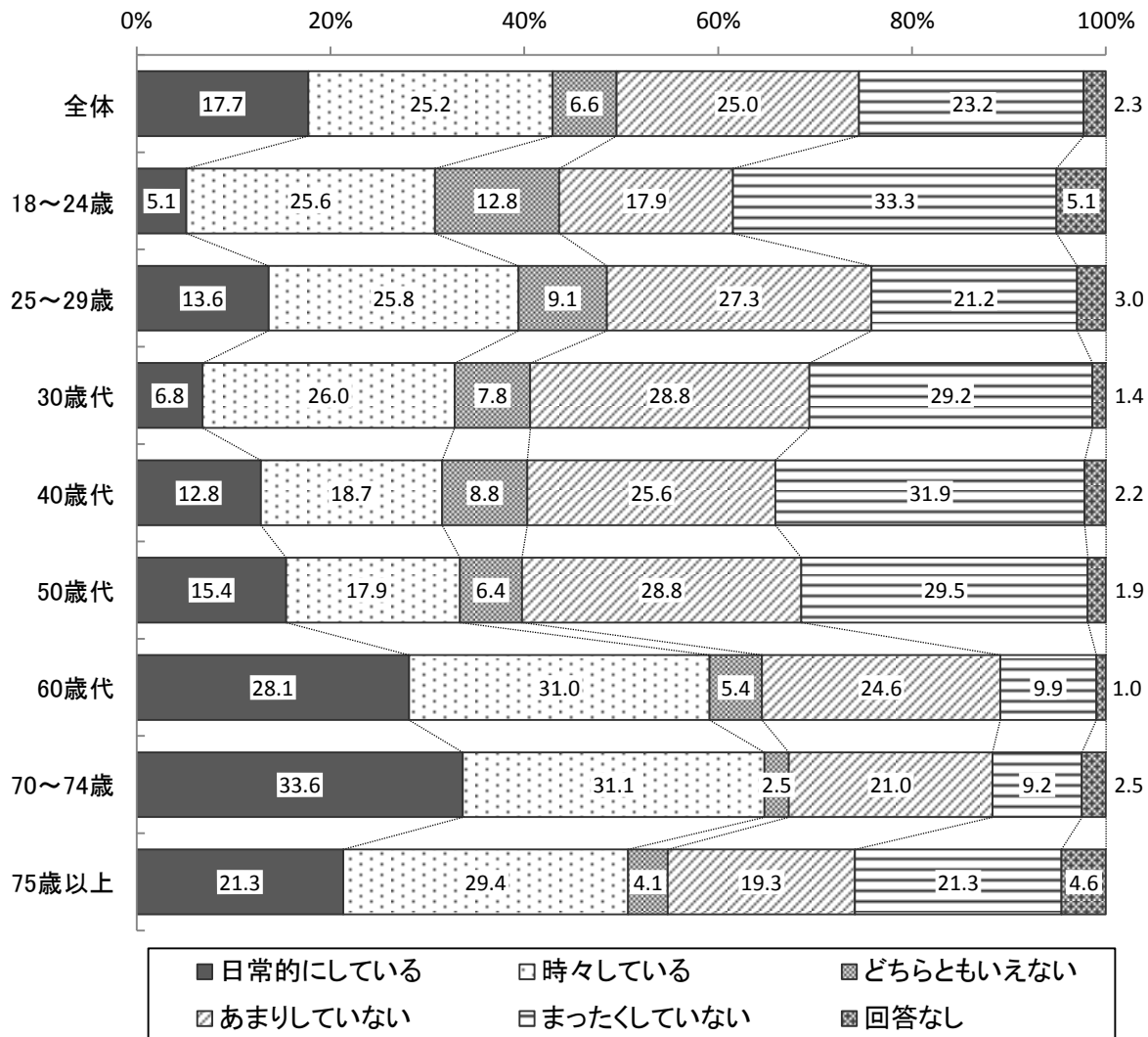
- ◆ ウォーキングをしていると回答した人（「日常的にしている」、「時々している」の合計）は、42.9%となっています。

【年齢別にみた「ウォーキングの実施状況」の傾向】

○ウォーキングをしていると回答した人は、70～74歳で64.7%と最も高く、次いで60歳代で59.1%、75歳以上で50.7%となっています。

○ウォーキングをしていないと回答した人（「あまりしていない」、「まったくしていない」の合計）は、50歳代で58.3%と最も高く、次いで30歳代で58.0%、40歳代で57.5%となっています。

図 4-9 年齢別「ウォーキングの実施状況」



(10) ストレス・悩みについて相談できる人の有無

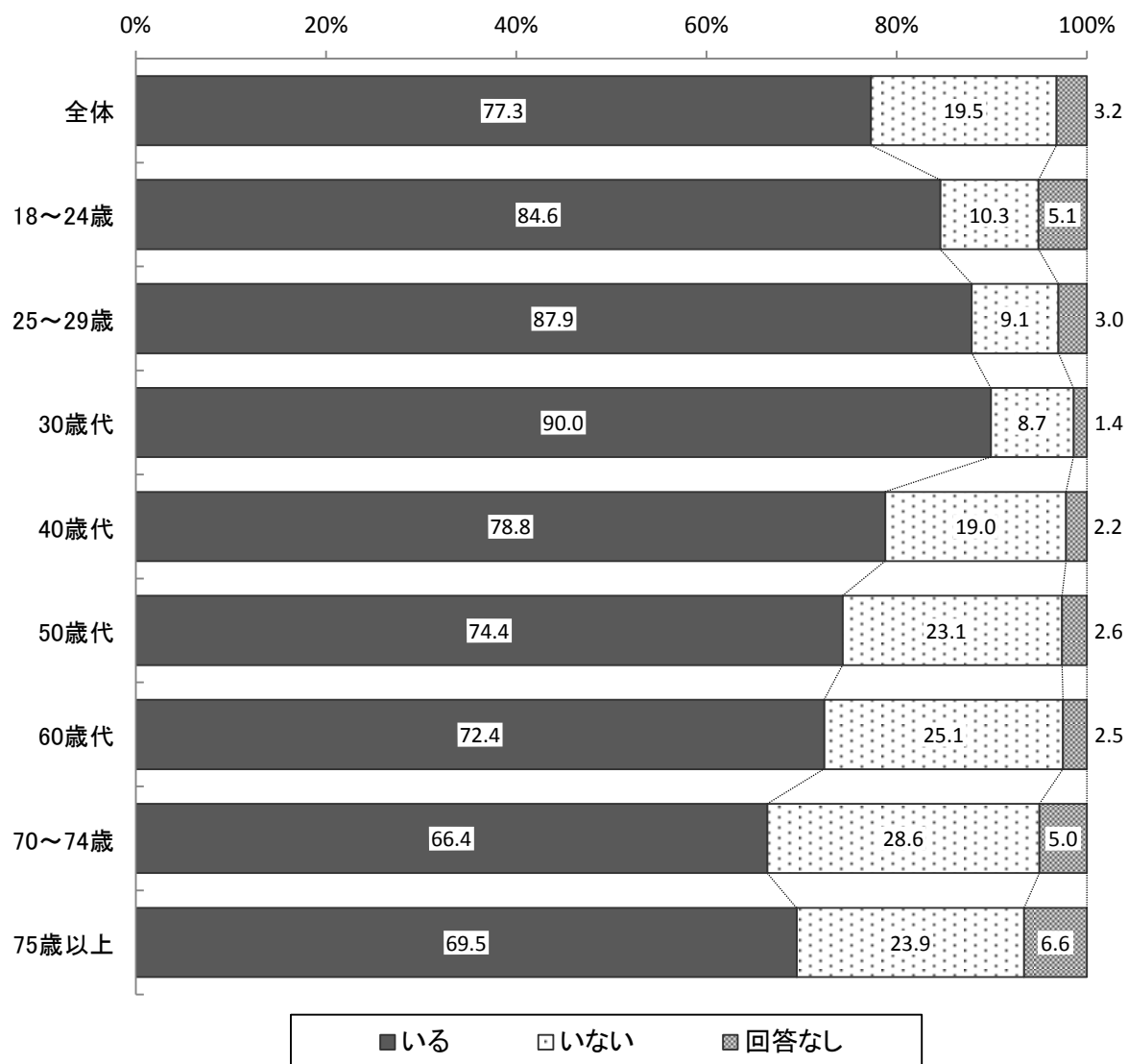
問 25 あなたは、ストレスや悩みを感じた時に相談する人がいますか。

◆ 「いる」と回答した人は、77.3%となっています。

【年齢別にみた「ストレス・悩みについて相談できる人の有無」の傾向】

○ 「いる」と回答した人は、30歳代で90.0%と最も高く、次いで25～29歳で87.9%、18～24歳で84.6%となっています。

図 4-10 年齢別「ストレス・悩みについて相談できる人の有無」



(11) かかりつけ医の有無

問 26 あなたには、かかりつけ医*がいますか。

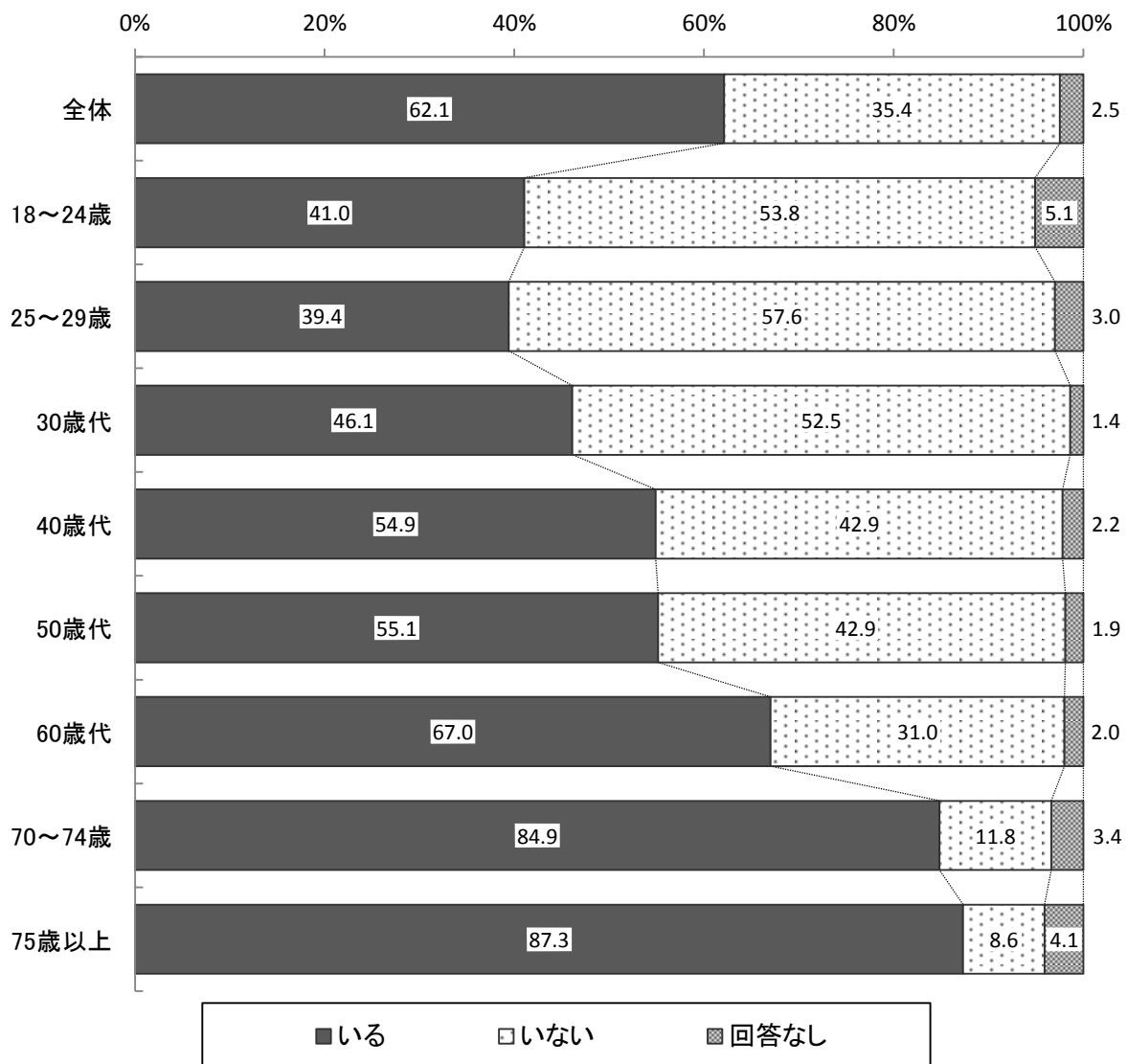
※かかりつけ医：病気の時などにいつもかかり、体調に不安があるときは健康相談ができる医師・医療機関。

◆ 「いる」と回答した人は、62.1%となっています。

【年齢別にみた「かかりつけ医の有無」の傾向】

- 「いる」と回答した人は、75歳以上で87.3%と最も高く、次いで70～74歳で84.9%、60歳代で67.0%となっています。また、年代が上がるにつれて概ね増加傾向にあります。
- 「いない」と回答した人は、全体と比べて、30歳代以下の年代で特に高く、5割を超えています。

図 4-11 年齢別「かかりつけ医の有無」



(12) 救急医療の認知度

問 27 あなたは、「救急医療情報センター※」またはホームページ「あいち救急ガイド」で休日や夜間に受診可能な医療機関を知ることができることをご存知ですか。

※救急医療情報センター：休日や夜間に患者を受け入れる医療機関を電話で紹介する機関。

◆ 「知っている」と回答した人は、51.1%となっています。

【年齢別にみた「救急医療の認知度」の傾向】

○ 「知っている」と回答した人は、30歳代で57.5%と最も高く、次いで40歳代で56.8%、50歳代で52.6%となっています。

○ 「知っている」と回答した人は、全体と比べて、18～24歳で特に低くなっています。

図 4-12 年齢別「救急医療の認知度」

